

穴をあけない新型吊り折版「スマートクリップ」の開発について

三晃金属工業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：青木栄一）は、省力施工をテーマに開発を進めてきた新型の吊り折版「スマートクリップ」の開発を終え、当社施工協力会社組織である「三友会」の各地区定時総会にて会員各社様への説明会を開始しました。

また、来月30日に岡山県で開催される第74回全国建築板金業者岡山大会に出展し、当社展示ブースにて試作品の展示説明会を実施します。

説明会で実際に施工される方々に触れていただき、そこでのご意見をフィードバックして本年秋口に正式販売を開始する計画としております。

「スマートクリップ」は、工場や倉庫の「大庇」で多く採用される「折版屋根の吊り工法」専用の商品です。従来工法では取り付け前に折版（折板）をドリルで穴をあけ、屋根材をかかえて押さえながら吊り金具のボルトに通して固定していた屋根材を、この度開発した専用金具（C金具）に嵌め込むだけで仮固定を完了させ、下部から同じく新開発の金具（X金具）を締め込む事で金具が突っ張り固定する、穴をあけない全く新しい吊り折版工法となります。（特許出願中）

さらに、屋根材同士を強固に嵌め合わせることが可能となったことにより、従来の吊り工法で必要であった中間繫結ボルトでの固定も不要になる画期的な施工省力工法になります。

屋根材に穴をあけないことで、従来工法と比較し施工スピードは2倍以上早くなり*、経年劣化による穴からの漏水リスクを低減します。

また、屋根材に最も多く採用される“めっき素地材”には、日鉄鋼板株式会社の次世代ガルバリウム鋼板「SGL®（エスジーエル®）」を標準材として採用するとともに、長期間風雨に晒される金具類には、日本製鉄株式会社の高耐食めっき鋼板「ZEXEED®（ゼクシード）」を採用することで、最も目に留まりやすい屋根＝庇を長期的に美しく保ちます。

当社にて施工検証した記録による。「SGL(エスジーエル)」は日鉄鋼板株式会社の登録商標です。*「ZEXEED」は日本製鉄株式会社の登録商標です。

なお、正式な販売準備が整いましたら当社より改めて仕様などの詳細情報をご案内させていただきます。

【商品概要】

商品名称：「スマートクリップ」（新型吊り折版）

正式販売開始時期：2024年秋予定

三晃金属工業は金属屋根トップメーカーとして「未来のために、今から屋根ができること。」をキーワードに持続可能な社会実現に向けた商品をお客様にご提供し、これからも社会に貢献して参ります。

以上